

年 月 日	2023 年 1 月 30 日
天 気	晴れ、時々曇り
集合場所・時間	阪急芦屋川・09:25
参加人数	18 名
歩行時間・距離	5.3km, 2h30m / 6.3 km, 3h25m
費 用	680 円 / 340 円

コースタイム

芦屋川 09:30⇒東おたふく山登山口 09:41/09:55（体操）～登山口 10:10～展望台 10:55～
東おたふく山山頂 11:05/ 11:10～雨ヶ峠（昼食/ぜんざい）11:30 /12:20～横池 13:15/13:20
風吹岩 13:30/13:35～高座谷道～高座の滝 14:30(解散)
第 1 班 雨ヶ峠 12:20～魚屋道～ドビ割り 12:50/12:55～お多福山登山口 13:25（解散）

感 想

関西ではお多福とはふっくらした美人の面影を言う。東お多福山の山容は、優美は草原状になっているとのこと、極寒の冬にそんな東おたふく山を目指して 18 人が集合。
おっと、登り始めると早くも降り積もった雪で滑ること、早速アイゼンの装着希望が出ました。今年初めての装着かちょっと手間取ります。20 分程のウオークの後暫く休みここから急登の始まり。本当、ツルツル滑って登り難かったです。高度 600m 辺りではリョウブの木立が真っ白な雪に映えて凜とした冬景色にうっとりしました。霜柱をサク、ザック踏みしめ登っていくとパッと開けた展望所に到着。遠く大阪湾を望み、青い空と白い雲。
もと来た道に戻り 10 分ほどで広い山頂に着きました。雪が沢山積もっているところを目敏く選んでいつも通りの顔で記念撮影。
ここから階段を降り、東おたふく山のゆったり広がる優美なススキ再生地の雪草原を楽しみ、時々やってくる突風に身をすくめ、やがて雨ヶ峠に到着です。良かった！東屋が空いています。早速大勢で場所取りをし、本日最大のイベント、ぜんざいパーティーの準備です。ランチもそこそこお餅入りのぜんざいに舌鼓。料理長始めご準備にご協力いただいた方に感謝・感謝です。
ここで予定通り 2 班に組分。1 班は雪道の悪路予想に挑む勇者達（6 名）。2 班は南斜面で積雪が少ないと読む賢者達（12 名）。ちょっと大袈裟かな？
ここから後者組：溶雪でドロドロ道。雪はそれ程残っていなかったが途中 10 分程急な岩登りがあり凍結した雪に苦労しました。立ち寄った横池では結構厚い氷にびっくり、ストックでも割れませんでした。風吹岩を過ぎてすぐ左折、高座谷道に入りました。ここが難路、踏み締められた雪が氷結、恐る恐る降りました。高座川をクロスして左手道に入ると雪は全くなく、安全地帯。快適な山歩きを楽しみながら皆さん無事高座の滝に着きました。

【第 1 班】

南斜面に行く第 2 班と別れ第 1 班 6 名はアイゼン装着を確かめた後、雨ヶ峠を北に向かって出発。登り坂を越え下り坂にかかると積雪も厚みを増し雪山登山の様相となりメンバー全員が雪景色に大満足。しかし山道は完全に凍結しており足元を確認しながら慎重に下りました。七曲り登山口からは積雪も凍結箇所も少なくなり一安心しましたがドビ割りを越えた所からは車道は積雪は少ないものの凍結しています。ここから 25 分ほど転ばないように慎重に車道を下ります。車両通行止の鎖のある所でやっとアイゼンから解放されホト一息です。女性陣 5 名がみんなが脚力が強いので雨が峠から予定より早い 13 時 25 分に登山口バス停に無事到着できました。足元に気を取られ折角の雪景色を背景にした記念写真を撮るのを失念していたのが残念でした。